



プレゼンス グループの設定

Cisco CallManager Administration でプレゼンスを設定すると、関係するユーザ（ウォッチャーと呼ばれます）が、電話番号または SIP URI（プレゼンス エンティティ）のリアルタイム ステータスをウォッチャーのデバイスから監視できるようになります。

プレゼンス グループを使用してウォッチャーがどの対象を監視できるかは、Cisco CallManager が制御します。プレゼンス グループは、ウォッチャー、およびグループ内のウォッチャーが監視できる対象を保持しています。あるグループに含まれているウォッチャーが他のグループ内の電話番号を監視できるようにするには、権限の設定値を指定して、プレゼンス要求を許可またはブロック（拒否）します。プレゼンス認可が作用するのは、対象のステータスを監視する権限をウォッチャーが持つことを必須としているプレゼンス グループです。

プレゼンス グループを設定したら、Cisco CallManager Administration で次の項目にプレゼンス グループを適用します。

- 電話番号：ステータスの監視対象となるプレゼンス エンティティ
- SIP トランク：ウォッチャー
- SIP 電話機：ウォッチャー
- SCCP 電話機：ウォッチャー
- アプリケーションユーザ：ウォッチャー
- エンドユーザ：ウォッチャー
- 自動生成デバイス プロファイル（エクステンション モビリティをサポートする電話機のみ）：ウォッチャー

プレゼンス グループの設定の詳細については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。

